

# モリアオガエル アオガエル科

主に木の上でくらすカエルです。池などにはり出した木の枝先に、白色のあわ状の卵を産むことで知られています。



## 形態・生態

親の体長はオス5～7cm、メス6～8cm。体の色は緑色ですが、オスでは背中や足に黒色は暗かっ色の模様が出る場合があります。皮ふはざらざらしています。

前足と後ろ足の指先には丸い吸ばんがついていて、木に登ったり細い枝につかまったりすることができます。

山林にすんで木の上でくらし、産卵も樹の上で行うカエルです。繁殖期になるとオスは水辺で「カララ、カララ」という声で鳴いてメスを呼びます。池や沼、水田などの上の木の枝などで1匹のメスに複数のオスが抱きつき、卵塊を後ろ足でかき回してあわ状にし、大きなメレンゲのような卵塊にして枝先に産み付けます（山際の水田のあぜや、池のふちに産みつけることもあります。）

ふ化した幼生は水中に落ちて成長し、2～3ヶ月でオタマジャクシからカエルになり、おとなのカエルになるには2年ほどかかります。寿命はおとなのカエルになってから2～3年くらいです。

## 調べやすい時期

|   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月  | 月  | 月  | 月 | 月 | 月 |



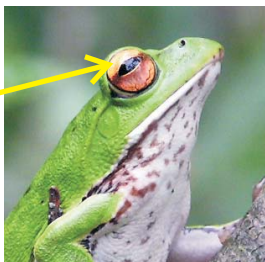
## 県内の分布

能登から加賀まで広く生息しています、分布についてはくわしく調べられていません。この調査によって、石川県のモリアオガエルの分布の現状が明らかになるでしょう。

## 見分け方のポイント

### モリアオガエル

光彩・赤っぽい

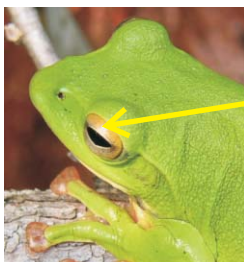


目の光彩が赤みがかっている

体の地色は鮮やかな緑色から暗い褐色まで変化する。黄色いはん点ができる場合もある。

### シュレーゲルアオガエル

光彩・金色

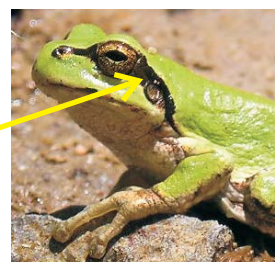


目の光彩が金色

体の地色は鮮やかな緑色から暗い緑色まで変化する。暗い茶色の模様ができることもある。

### ニホンアマガエル

黒い線



目の横に黒い線がある

体の色は周辺の環境に合わせて黄緑、茶色、灰色に変化する。雲形の模様ができることもある。